

通商に對する不安を拂ふある模様にして
まゝ實現されんとして居るのハ領
海漁業、森林契約、鈴木商店砂糖輸入契
約位のものにありまゝ然し通商の盛んを
うまひのは露國の誠意を疑ふを待つて居
るからにありまして若し而後抑も誠意が
認められ外國の資本が投入されることか
盛んになると通商は或は^{急轉直下}進歩し
白熱化するかも知れませんが目下の状態
は白熱とは申されません。それから修善共

産主義の中には日露同盟を云々する者も
ありまゝがこれは一つに彼等の変態心理
に起因するものであります。大早計と評
すより外には批評の言葉もありません。又
堺の伊東伯、後藤子、大巻の等の三角同
盟^等の^等も^等實に過ぎた議論であります。
我國の共產主義者と後藤との間に意見
何人の關係もありませんが子が親露論者
ひあり急進的政況を憂ひますが故に子が政
權を獲得して徹底的修善が実施されるこ